

空いけ阪大



私たち空いけ阪大は2005年に設立されて以来、**無尾翼機**を研究・製作し続けています。そして、製作した飛行機を披露し、飛行記録を残す場として、読売テレビ主催の**鳥人間コンテスト**への出場を目指しています。人力機の研究開発を始めて以来、2012、2013、2014年度大会に出場しました。そして2013年度には**史上初**の無尾翼人力機の安定飛行を実現するという快挙を達成し、**大会特別審査員賞**を頂きました。2014年度には悪天候のなか、チーム記録を大きく伸ばすフライトが出来ました。



麗月



鳥人間コンテストとは、自作した飛行機を**琵琶湖**で飛行させる大会です。「滑空機」、「人力機タイムトライアル」、「人力機ディスタンス」の三部門からなります。

鳥人間コンテストまでの流れ

昨年度の結果から翼、桁、プロペラ、コックピットなどを設計し、より**効率の良い飛行**ができる機体を目指します。

設計

鳥人間コンテスト

製作

試験



機体の強度を確かめるための**荷重試験**をしたり、実際に飛行場に行って**テストフライト**をします。



重量、寸法、形状などを高精度で製作せずには設計通りの性能を発揮することは出来ません。しかし時間をかけ過ぎるとテストフライトの回数が減ってしまいます。**高精度な製作**を行うスキルは年々ついてきています。

2015年度大会に向けて



今年度は両翼の桁を全てCFRPIに、そしてアームパイプをCFRPの角パイプにすることで軽量化に、その上プロペラの製造方法の変更により高精度の機体を作り、より遠くへ飛ぶ機体に仕上がっています。

1kmのビックフライトへむけて部員一同全力で作業しています。